

(社)日本電気計測器工業会総会開く

ISO/IECとの連携強化 環境・安全・セキュリティに取り組み

(社)日本電気計測器工業会は5月17日、東京都千代田区のクラブ関東で第46回定時総会を開催した。2005(平成17)年度事業報告及び決算報告を承認、06(平成18)年度の事業計画及び収支予算を可決した。

今年度事業計画の重点課題は「従来から継続してきたISO/IECへの規格化提案」、「国の委託事業の成果を国際規格に提案する事業」、「IEC/TC65プレナリー会議国内開催の準備などを含むISO/IECとの連携強化」、「PLIBのビジネスへの活用に向けた取り組み」、「環境、安全・セキュリティへの対応」などが挙げられ、工業会活動を効率化する。新しいビジネスの展開に資する事業として、①JCSSの普及と諸課題解決を図り、校正サービス事業の需要喚起、②PLIBのビジネス活用へのビジネスモデル構築に向け作業手順を検討、③環境計測器ガイドブックの発行(7月末)、を行う。

託事業の成果を国際規格に提案する事業、「IEC/TC65プレナリー会議国内開催の準備などを含むISO/IECとの連携強化」、「PLIBのビジネスへの活用に向けた取り組み」、「環境、安全・セキュリティへの対応」などが挙げられ、工業会活動を効率化する。新しいビジネスの展開に資する事業として、①JCSSの普及と諸課題解決を図り、校正サービス事業の需要喚起、②PLIBのビジネス活用へのビジネスモデル構築に向け作業手順を検討、③環境計測器ガイドブックの発行(7月末)、を行う。

て懇親会を開いた。竹下晋平会長の挨拶の後、来賓を代表して経済産業省商務情報政策局情報通信機器課横尾英博課長が祝辞を述べ、佐藤良晴副会

長の前頭で乾杯し、和やかな懇親会となった。

2006年度の主な事業計画
◇展示会、セミナーに關する事業Ⅱ▽「計測展2006 OSAKA」を開催▽タイムリーな各種セミナー(WEE/RoHS、EMC、輸出入

エー・アンド・デイ決算報告

(①面のつづき)

海外では米国での売り上げ増が際立つ。家庭用

同時企業への信頼性も向上した。

しかし、原油価格高騰の影響はあるものの米国など先進国向けの輸出は堅調で、韓国では現地生産の計量機器が国内に加え輸出も好調に推移、大幅な伸びとなった。家庭用

7800万円(前期比9.8%増)、営業利益40億2700万円(同20.3%増)、経常利益36億4200万円(同14.1%増)、純利益23億1000万円(同19.3%増)としている。DSP事業における開発費増加を見込み、新規、応用ともにさらなる売り上げ増加を目指す。また一層のコストダウンで競争力を強化、新製品投入や新たな市場への進出を図る。



海外では米国での売り上げ増が際立つ。家庭用血圧計は新製品の立ち上げ遅れが響いたものの、医科用血圧計は新市場の開拓に成功し、計量機器も競争力の高い新製品効果で好調に推移した。また、買収によりADT社の自動車産業向けシステムの売り上げも加わり、

この買収のため、ADT社において多額のコンサルティング費用等が一時的に発生した。営業損失は2億7900万円、売上高は前期比31.0%増の51億3900万円。アジア・オセアニアでは、オーストラリア生産の計量機器が伸び悩む。

開発費増加で他社と差別化
2007年3月期の見通しは、売上高342億

経済産業省産業技術環境局的基盤計量行政室パブリックコメント担当、FAX03-3501-7851、電子メー

をFAX、電子メールで受け付けている。
【日時】6月9日(金)14時～16時
【場所】経済産業省別館5階511号室
【議題】▽委員長の選出▽作成目的と作成方法▽質量計用ロードセルJIS原案の審議▽その他
【問い合わせ先】産総研産業官連携推進部門工業標準部(担当:釜土、國府田)、FAX029-862-6222、電子メール:is3f51-webmaster@aist.go.jp

パブリックコメント募集

計量制度検討小委員会報告書(案)

経済産業省計量行政室は、計量制度検討小委員会報告書(案)に対する意見を募集している。期間は5月23日から6月23日まで。

の進歩、安全・安心に対する国民の関心の高まり、ものづくりを中心とした産業競争力の向上における正確な計量の重要性の高まりなどの現況を踏まえ、計量行政のあり方について検討を行い、今年4月に報告書案をとりまとめた。これに対し、

【資料入手方法】▽電子政府の総合窓口(e-Gov)における掲載
ID://www.e-gov.jp
o.p)▽窓口(経済産業省計量行政室)での配布(東京都千代田区霞が

【意見募集終了日】6月23日(金)必着
【提出方法】別紙の意見提出用紙に日本語で記入の上、郵送、FAX、電子メールのいずれかで送付。電話受付不可。電子メールは件名を「計量制度検討小委員会報告書(案)に対する意見」として送信。

【意見提出先】〒100-8901、東京都千代田区霞が関1-3-1、

質量計用ロードセルJIS原案作成委員会を開催する。6月2日(金)まで傍聴登録

計量制度検討小委員会
は昨年7月、新しい計量
行政の方向について経済
産業大臣の諮問を受けた
分科会及び計量行政審議
会の下に設置。科学技術

踏まえ、計量行政のあり方について検討を行い、今年4月に報告書案をとりまとめた。これに対し、

【資料入手方法】▽電子政府の総合窓口(e-Gov)における掲載
ID://www.e-gov.jp
o.p)▽窓口(経済産業省計量行政室)での配布(東京都千代田区霞が

【意見提出先】〒100-8901、東京都千代田区霞が関1-3-1、

質量計用ロードセルJIS原案作成委員会を開催する。6月2日(金)まで傍聴登録

をFAX、電子メールで受け付けている。
【日時】6月9日(金)14時～16時
【場所】経済産業省別館5階511号室
【議題】▽委員長の選出▽作成目的と作成方法▽質量計用ロードセルJIS原案の審議▽その他
【問い合わせ先】産総研産業官連携推進部門工業標準部(担当:釜土、國府田)、FAX029-862-6222、電子メール:is3f51-webmaster@aist.go.jp